

教育目標：自ら考え、心豊かに、たくましく生きる児童の育成

学校通信



夢きらり

桐生市立新里東小学校
令和7年度

NO. 7

令和7年9月12日

笑顔輝く 仲の良い学校

文責 校長

2学期が始まりました

《自ら考え 心豊かに たくましく生きる》

9月1日(月)、第2学期始業式を行いました。以下、校長の話です。

今日から2学期が始まりました。44日間の夏休みはどうでしたか？

さて、2学期の始業式は、みなさんが普段使う言葉について考えてほしいと思います。アニメのキャラクター、アンパンマンの友達、愛と勇気、対極のキャラクターばいきんまん、友達は何だろう??これから学級の代表の児童16名に「言葉カードを分類」してもらいます。

さあ、分類ができました。みんなで大きな声で「言葉カード」を読んでみましょう。アンパンマンが使いそうな言葉の方には、「がんばったね、大好きだよ、楽しいね、すごいね、ありがとう、ごめんね、かわいいね、応援しているよ . . .」愛と勇気を与える言葉ですね。ばいきんまんが使いそうな言葉の方には、「ばか、あっち行って、きえろ、ウザい、アホ、だまれ、キモい、もう遊ばない . . .」わがままで自己中心的な言葉ではないでしょうか。

「人は言葉によってつくられる」というように、発する言葉でその人の心持ちや性格が分かるものです。その人の生き方や人格も、言葉にあわられてくるのです。「仲がよいからこれくらい . . .」と使って使った言葉でも、相手に悲しく苦しい思いをさせているかもしれません。礼儀をなくした言葉は、相手の心も自分の心も荒廃させ、人とのつながりを切ってしまうものです。

言葉は人間関係を作り出す大切な道具です。愛と勇気にあふれた言葉を使い、友達も自分も大切にしていきたいと思いますか？
2学期は言葉について考え、生活してほしいものです。

電子黒板が導入されました

《自ら考え 心豊かに たくましく生きる》

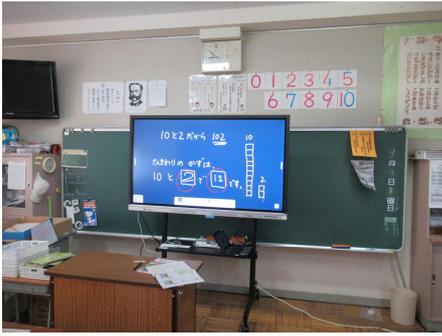
夏休み中に、電子黒板が入りました。活用の様子もお知らせします。

電子黒板とは、PCと接続し、画面に表示された情報に対してタッチペンなどで書き込みできる大型ディスプレイです。画像や動画の表示、内容の保存・共有・拡大・縮小などができる機能を持ち、授業の効率化や視覚的な理解促進

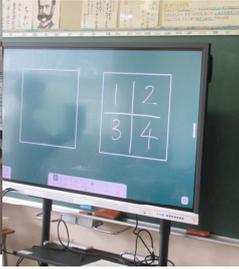
が期待できます。2学期以降の学習参観をお楽しみに。

【校内研修：講師より説明】

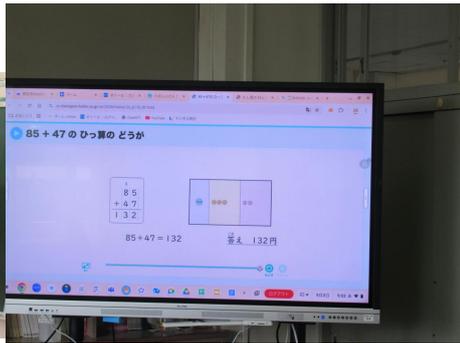




【1年算数：従来の黒板のように文字や図を書き込む】



【1年国語：マスを使った文字指導】



【2年算数：教科書を拡大して映す】



【4年社会：動画を見る】



【5年社会：棒グラフに文字や印を書き込む】

家庭内のルールが鍵だ

《自ら考え 心豊かに たくましく生きる》

9月12日(金)上毛新聞の「論説」に上記の見出しがありました。愛知県豊明市の条例案、仕事や勉強以外でスマートフォンの使用を「1日2時間以内」に関する記事です。豊明市では、タブレットやゲーム機も対象に含め、使いすぎによる悪影響について警鐘を鳴らすようです。

本校でも子供たちの話題はゲームに関するものが多く、「〇〇をクリアした」とか、「〇点達成した」など、喜々として話しています。反面、SNS上のトラブルなどの話も聞かれます。

7月に市内の教職員の研修がありました。内容は『スマホが脳や学力に与える影響』、講師は東北大学 応用認知神経センター 助教授(医学博士) 榊 浩平さんでした。

スマホには「画面」「携帯性」「多機能性」「依存性」がある。「脳は1つのことに集中するので、頻繁にアプリ等を切り替えることは脳によくない」ことや、「長期間使っていると脳が育たなくなる」ことは、リスクなのだそうです。脳内は見えないので、スマホを減らす時間を自身で作っていききたいですね。

参考に

榊先生がおすすめる家庭での取組

- ①スマホのリスクを知る
- ②家族で話し合う・・・大人も子供も同じ時間
- ③ルールを3つ決めてみる
- ④2週間チャレンジしてみる
- ⑤振り返ってみる



☆養護教諭：中島亜耶先生から☆
スマホの使いすぎは視力低下や睡眠不足、姿勢の悪化など身体的な問題だけでなく、脳の発達へも悪影響を及ぼします。依存症など、精神的な問題を引き起こす場合もあります。ぜひ、ご家庭で話し合う機会を作ってください。ご家族みなさんで心身の健康を考え、スマホとのよい付き合い方ができるよう、お願いいたします。

スマホ使用時間を決める、電源を切る、使用しない時は別室に置く・・・などもいい取組ですね

学校でも、スマホやゲーム時間を考えるなど、様々なことについて自分で考え行動できる自己管理能力を育てていきます。